



2020年度看護学部学術委員会（学内学術交流推進小委員会）報告：学術活動

メタデータ	言語: Japanese 出版者: 福島県立医科大学看護学部 公開日: 2021-04-16 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 看護学部学術委員会（学内学術交流推進小委員会） メールアドレス: 所属:
URL	https://fmu.repo.nii.ac.jp/records/2000637

学 術 活 動

2020年度 看護学部学術委員会（学内学術交流推進小委員会）報告

看護学部学術委員会（学内学術交流推進小委員会）

1. はじめに

学術委員会は、看護に関する研究・実践・教育の学術向上のために、学外・学内の学術交流の方針やあり方を検討する委員会である。2020年度は3つの小委員会（学外学術交流推進小委員会、学内学術交流推進小委員会、研究活動広報小委員会）に分かれて活動してきた。今回は、学内学術交流推進小委員会の活動について報告する。

学内学術交流推進小委員会は、看護学部の各教員が取り組んでいる研究・実践・教育活動を教員間で共有し、お互いに刺激し合ったり、学んだりすることで、各教員の学術活動を更に高める機会を作ることを目的に活動している。本年度は昨年引き続き「My Premium（マイプレミアム）を語る会」と称し、教員の取り組みを紹介して、そのテーマに関連することについて意見交換する会を3回企画した。

今年度は、新型コロナウイルス感染症対策として、広い講義室を使用し、換気や消毒薬の設置を行った。

2. 活動紹介

1) 第1回「My Premium を語る会」

日 時 7月8日 16:30~17:40

講 師 成人・老年看護学部門
教授 佐藤菜保子先生

テーマ 「研究をするうえで私が大切にしていること」
内 容

佐藤先生が取り組まれた研究内容や学会発表について写真を交えながら紹介いただいた。「何か面白いことをやろう」をキーワードに、自分にしかできない研究をするということを意識しながら、常に社会還元への意義を問いかけること、良いチーム作りの大切さについてお話しいただいた。教員として、研究に邁進する責務を再認識する機会となった。

2) 第2回「My Premium を語る会」

日 時 8月5日 15:00~16:00

①講 師 基礎看護学部門
准教授 佐藤 博子先生

テーマ 「ご指導により取得できた科研費-熱い思いの研究-」
内 容

佐藤先生の皮膚疾患看護に対する熱い思いとともに、科研費の採択のポイントとして、指導教授の的確な指導を受けたことや学術的重要性・妥当性の記述を充実させたこと、科研申請先の小区分を変更したことなどを、具体的にお話しいただいた。

②講 師 成人・老年看護学部門
助教 杉本 幸子先生

テーマ 「三度目の正直」
内 容

「ファーマシーナース」についての研究への取り組みと、科研費取得に至るまでの積み重ねについて発表いただいた。福島県の薬剤師会とのネットワークを築くために尽力されたことや、申請書に自己の研究結果を盛り込み、実現の可能性を向上させたことなどをお話しいただいた。

お2人のお話から、科研費申請のための具体的な実践的な学びを得ることができた。

3) 第3回「My Premium を語る会」

2月の開催を予定していたが、諸般の事情により中止することとなった。

3. おわりに

「My Premium を語る会」を通じて、教員同士の活動を知ることができ、専門分野の広さや深さを共有することができる。

学内学術交流推進小委員会として、今後も看護の質の向上に貢献できるよう、刺激し合える機会を企画していきたいと考えている。